

組合開設50周年記念式典を開催しました(協同組合米沢総合卸売センター)

協同組合米沢総合卸売センター(前山健二理事長)は、10月29日(金)、グランドホクヨウ(米沢市)において、開設50周年記念式典を開催しました。

当組合は米沢市中田町にある卸商業団地で、組合員は現在48社。組合会館P-PALの共同施設管理や研修厚生事業、企業主導型保育園キッズピーパルの運営、外国人技能実習制度事業などを行っています。

式典には、来賓として衆議院議員 鈴木憲和氏、東北経済産業局産業部長 鈴木光弘氏、山形県置賜総合支庁 支庁長 安孫子義弘氏らを迎え、関係団体や組合員など約100名が出席しました。前山理事長は「この50年間は大きな時代の変遷の連続であった。組合を取り巻く環境は大変厳しいが、組合を開設した諸先輩方の気概を忘れることなく、新たな魅力と価値を創造し、経済活性化に向け中核的役割を担っていく。」と挨拶し、出席者はこれからの50年へ向けて決意を新たにしました。また、組合功労者への表彰が行われ、功労者11名と組合員16社に表彰状・感謝状が授与されました。



スーパー「セルカ」がリニューアルオープンしました(協同組合ショッピングパークめざみ)

9月16日(木)、協同組合ショッピングパークめざみ(屋島幸治理事長)の店舗であるセルカが、「SHINセルカ」としてリニューアルオープンしました。セルカは1998年にオープンし、飯豊町唯一のスーパーとして営業しております。近年の人口減少や顧客の町外流出による経営の環境変化への対応、町内のスーパー維持のため、今年に入り宮城県からの助言や町の補助を受け、店舗改装や社員教育を実施しました。ショーケースの入替や新設備の導入等を行なったことでさらに新鮮な食品の提供が可能になり、地域の皆様からより気軽に来店していただける店舗となりました。



薬物乱用防止キャンペーンを実施しました(山形県遊技業協同組合)



山形県遊技業協同組合(井上静夫理事長)は、国・県主催の「令和3年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」の一環として、10月21日(木)、県内の9つの駅において、通学・通勤途中の高校生・会社員等に薬物乱用防止を呼びかけました。JR山形駅では、組合員と事務局職員が「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」「パチンコは18歳から」「コロナから身を守りましょう」と表記した蛍光ペンを配布しました。組合では6年前から毎年このキャンペーンを行っており、この日は約2000本の蛍光ペンを配り、県民に周知を図りました。